

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	特定機能病院における医療安全のためのピアレビュー推進事業			担当部局	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		課長：榎本健太郎		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	医療法施行規則第9条の23の11			関係する計画、通知等	医療法の一部を改正する法律の一部の施行について(平成5年2月15日健政発第98号：厚生省健康政策局長通知)				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大学附属病院等において、医療安全に関する重大事案が相次いで発生したことを踏まえ、特定機能病院において、より高度な医療安全管理体制を確保することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大学附属病院等において、医療安全に関する重大事案が相次いで発生したことを踏まえ、医療安全確保を目的とした特定機能病院の承認要件の見直しを行った。主な見直しとして、特定機能病院の医師、看護師等のスタッフがお互いの病院に立入を行い、医療安全の改善のためのアドバイスをを行う取組、いわゆるピアレビューを実施することを義務づけており、その事務局機能を担う者に対する支援を行う。								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	0	14	
	執行額	0	0	0					
	執行率(%)	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-						
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金	0	14						
	計	-	14						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 29年度	目標最終年度 30年度
	特定機能病院間で行われるピアレビューを確実に実施する。	ピアレビュー実施件数	成果実績	施設	-	-	-	-	-
			目標値	施設	-	-	-	-	85
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	平成29年4月1日時点での特定機能病院承認件数								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	ピアレビュー後の報告書(実施報告書)数	活動実績	-	-	-	-	-	-	
		当初見込み	-	-	-	-	-	85	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X/Y X:予算執行額(開催経費) Y:ピアレビュー後の報告書数	計算式	X/Y	-	-	-	-		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標 I-3 利用者の視点に立った、効率的で安心かつ質の高い医療サービスの提供を促進すること										
	施策	医療安全確保対策の推進を図ること(施策目標 I-3-2)										
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
			実績値	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	特定機能病院に義務化された相互ピアレビューの適切な実施により、特定機能病院の医療安全管理体制を確保することは、医療安全対策の一層の推進を図ることに寄与するものである。											
	改革項目 （第一階層） （第二階層）	分野:	-									
		KPI （第一階層）	KPI （第一階層）		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
				成果実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-				
KPI （第二階層）		KPI （第二階層）		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
	達成度	%	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

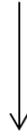
事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	高度かつ先端的な医療を提供する使命を有している特定機能病院の医療安全管理体制をより一層高度なものにすることは、国民のニーズを反映している。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	特定機能病院の承認要件を定める国が支援することにより、医療安全管理体制の確保に寄与することができる。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国民の生命・健康を預かる医療提供施設として、高度な医療安全管理体制を確保することは、優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

厚生労働省  
14百万円



【補助金等交付】

事業実施団体  
14百万円

特定機能病院間の相互ピアレビューに係る  
事務局機能を担う者に対して、事務局職員の  
人件費、会議費用や報告書作成に係る諸費  
用を補助する。

費目・用途  
(「資金の流れ」に  
おいてブロックご  
とに最大の金額  
が支出されている  
者について記載  
する。費目と用途  
の双方で実情が  
分かるように記  
載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	--	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	--	